

2022.11.24

第144号

ボランティアセンターだよりNo.101
合併号

こしみず

社協だより

発行/社会福祉法人 小清水町社会福祉協議会
小清水町ボランティアセンター



ふれあいネットワーク

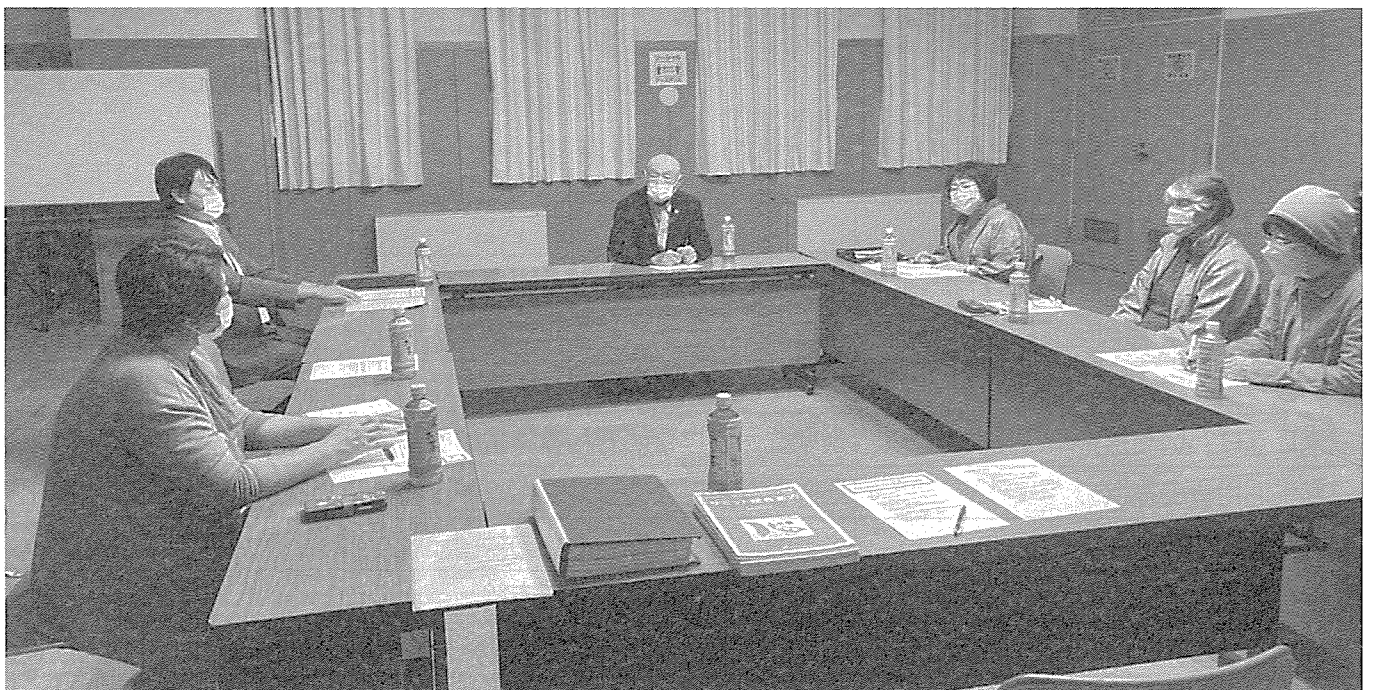
〒099-3612 斜里郡小清水町字共和13番地の3
高齢者生活福祉センターほほえみ内
TEL 代表 (0152) 62-3988
ヘルパー・デイサービス部門
(0152) 67-7322
FAX (0152) 62-4405

どんどんこしみず情報交換会を開催

10月12日(水) 地域支え合い推進員の皆さんで作る「どんどんこしみず」情報交換会を開催しました。地域支え合い推進員とは、今後、高齢化により増加する在宅高齢者の方を支えるため、自治会などの地域の多様なグループと連携を図り、支え合い・助け合いの地域づくりを進めて行く推進員です。

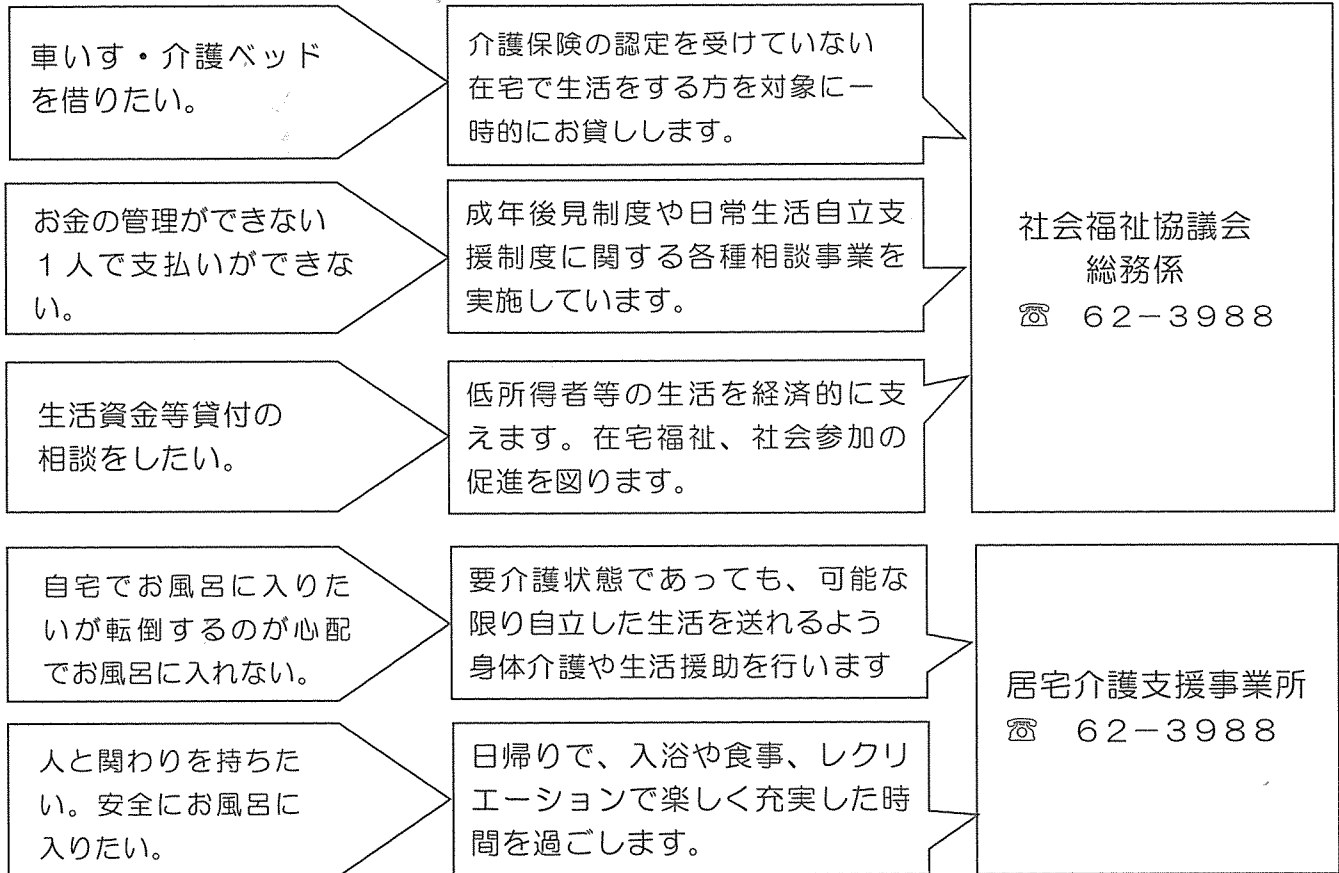
コロナ禍で人と人との接触が難しい中ですが、止別地区でのサロン活動についてどのように進めていくかを推進員で検討しました。まずは止別地区の100歳体操に足を運び推進員活動について覚えてもらうこと、そこで何が私たちに出来るのかを調整して進めていくことを話し合いました。

今後とも推進員活動にご協力いただきたいと思います。(写真は10月12日 会議の様子)



相談窓口のご案内

下記は社協に多く寄せられる相談内容を記載しています。
お困りのことがありましたら社会福祉協議会にご相談ください。



赤い羽根共同募金



始まりました。

皆様からの募金は下記の事業に使われています。

令和4年度

1,201,665円となっています。

事業概要	事業内容	金額
一人暮らし高齢者友愛訪問	※年末にお宅へ訪問する事業	95,031円
心配ごと相談所 無料法律相談会	※年1回弁護士による無料相談	65,021円
小地域ネットワーク活動の支援	※指定自治会活動に対して交付金の支援	161,000円
歳末たすけあい義援金	※準要保護世帯に対し義援金の贈呈	302,000円
日常生活用具の提供	※必要な方に杖の支給、ベッド、車いすの貸出し	92,554円
就労支援B型事業所	※一般の会社に働くための練習、就労訓練に使用	222,059円
就学援助費の支給	※準要保護世帯に対して支給	150,000円
社協だよりの発行	※年5回地域福祉に関する情報を提供	114,000円

■今年も心温まる募金をありがとうございます！



10月15日（土）赤い羽根共同募金の街頭募金活動をエーコープ前で行いました。今回は共同募金委員会 瀧口 勝会長、鳥谷部仁子副会長にご協力いただき募金活動を行いました。

買い物帰りの皆様が足を止め、募金に協力してくださいました。

また、各自治会をはじめ町内の各企業や団体の皆様にも募金にご協力いただきありがとうございます。

皆さんからいただいた募金は、大切に使用させていただきます。

■今年も赤い羽根共同募金ご当地ピンバッジが完成しました。

今年度は就労支援事業所の皆さんがキツネをモチーフにしたバッジをデザインしました。ピンバッジの設置協力店は以下のとおりです。

- ① こしみず温泉ふれあいセンター
- ② 株式会社山口油屋福太郎小清水北陽工場
- ③ 道の駅はなやか（葉菜野花）こしみず
- ④ 小清水観光協会
- ⑤ アロマ&猫カフェCORON



きつねをモチーフとした2022バージョン

あたたかなご寄附ありがとうございます 令和4年7月13日～11月4日

◇ 香典返しを廃して、金一封を…

鈴木 正志 様 浜小清水 130 番地
 工藤 敦子 様 浜小清水 82 番地
 根本 政仁 様 南町 1 丁目
 荒木 和正 様 南町 1 丁目
 大澤百合子 様 東野 311 番地
 竹内 和子 様 美和 3
 中村 幸恵 様 南町 1 丁目
 上野 栄治 様 北見市常磐町
 根本 栄子 様 萱野 54-4
 佐藤 純爾 様 北見市高砂町
 三浦 ス工 様 止別 414 番地

◇社会福祉のために金一封を…

小島るみ子 様 北見市

◇高齢者生活福祉センターへ

※雑巾・足ふき 楽しく生行クラブ 様

※タオルバスタオル等 石川 聡 様

長尾 順子 様

小清水町商工会女性部 様

※テレビ

上野 栄治 様

社協だよりはホームページでもご覧になれます⇒

<https://protech-web.co.jp/homepage/koshimizu-shakyo/index.html>

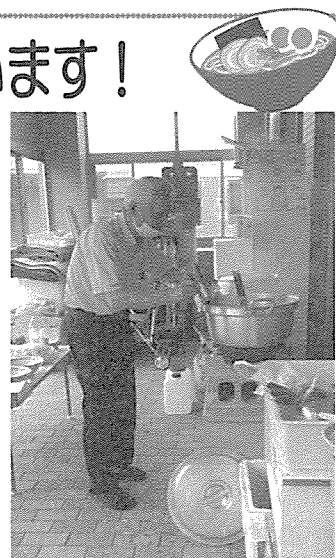


小清水町ボランティアセンターだより No.101

■美味しいラーメンに舌鼓！ありがとうございます！

7月28日(木) 喜楽食堂の佐々木正児氏が高齢者生活福祉センター居住部門に入居されている皆さんに、「ラーメンを食べさせたい！」という一心でセンターに来所されボランティアでラーメンを調理してくださいました。

佐々木さんは以前から「居住入居者の方へラーメンを食べさせてあげたい。」という思いが強くあり、そのご厚意から実現しました。行事がなかなかできない中で、普段から食することがないラーメンの味に入居者の皆さんは大変喜ばれていました。佐々木さんありがとうございました！！



■ボランティアグループインタビュー 高齢者の集い～すみれ会～

*感染防止のため別室で仕込みをする
佐々木さん

*すみれ会に見学に行ってきました！！

毎月第4水曜日に美和地区農業交流館で開催するすみれ会。

発足して今年で17年が経過しました。

午前中は創作活動や会話を楽しみ、午後からゲームをして楽しんでいます。

少人数でのサロン活動はみんな和気あいあい。すみれ会を発足した田中逸子さん、西川弘子さんに話をお聞きしました。



【すみれ会を発足したきっかけは。】

*田中逸子さん

「とにかく高齢者の居場所を作りたいかった。1か月に1回集まる交流の場を作りたいかった。」

【当時地域のサロン活動がそんなに活発ではなかった時に発足してどのような状況でしたか。】

「幸いだったのがスタッフに介護・看護経験者もいて、そんなに受け入れることは苦にならなかったです。利用者の方にはサロンの日数を増やして欲しいとの声も多くいただきましたが、スタッフの人数もギリギリだったので出来なかった！ スタッフさえ確保できればと悩んだ時期もありました。」

【サロンをやっていて良かったことはどんな時ですか。】

「参加する方が皆喜んでくれることが一番ですね。悩んでいること、困っていることなどを聞いたりして、すみれの会で手助けできること、これが本当に嬉しいです。」

【コロナ禍での活動では何か工夫とかされましたか。】

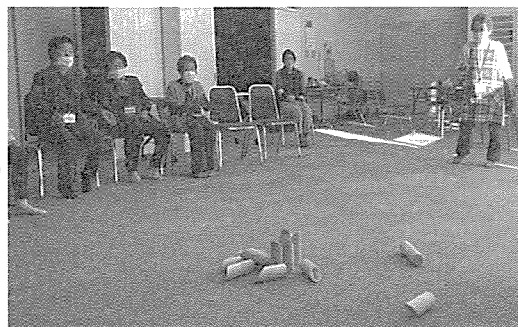
「自粛したかったのですが、参加している方の体力が低下することを考えると、コロナだからと言って何もせずにはいられなく、感染対策をしながら出来る限り活動はしていました。」

施設が使えなくなった時は手作りのものを作って参加者の家に届けたりして元気づけていました。

最後に皆さん、ぜひ一度すみれ会に遊びに来てください。

(すみれ会毎月第4水曜日開催 10時～15時まで)

【お問い合わせ:社会福祉協議会 62-3988】



*モルックを楽しむすみれ会の皆さん！